

アクアパル千曲 更新1号汚泥焼却炉が完成しました

千曲川流域下水道上流処理区終末処理場（アクアパル千曲）で、令和2年から建設を進めてきた『更新1号汚泥焼却炉』が、令和8年3月に完成し、運転を開始しました。

【諸元】

建築概要	鉄筋コンクリート・鉄骨造	地上3階・地下1階
	建築面積：約970㎡	延べ面積：約1,070㎡
機械設備	多層燃焼式流動炉（タービンアシスト燃焼システム）	
	汚泥処理能力 50t/日	

【導入システムの特徴】

多層燃焼 → 温室効果ガスであるN₂Oの削減

N₂Oの生成を抑制するとともに、焼却炉内に形成した高温領域でN₂O分解

タービンアシスト燃焼システム → 省電力

排ガスからの回収熱で過給機（タービン）を駆動し、過給機（コンプレッサ）にて焼却炉に供給する流動空気を増圧することで流動ブロワの動力負荷が軽減され、消費電力を削減

廃熱利用による消化槽加温 → 廃熱有効利用

排煙処理塔の廃熱から約80℃の温水を熱回収し、消化槽の加温エネルギーとして活用

※今回の導入システムにより、従来型の焼却炉に対して廃熱回収率は40%以上、消費電力量削減率は20%以上となる。



（問合せ先）

担 当 千曲川流域下水道事務所
上流施設課（アクアパル千曲）
中沢、宮腰、和田

電 話 026-283-5135 FAX 026-283-4175

E-mail joryushisetsu@pref.nagano.lg.jp